

平成20年3月期 中間期 決算説明会

- 1 連結業績の概要
- 2 連結業績について
- 3 平成20年3月期 業績予想
- 4 中期経営計画への取り組み
- 5 その他の情報



We Secure the Future

思いをかなえる 技術で見つめる 確かな未来

当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。

当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動するなどのリスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、投資判断を決定する場合には、本資料の将来の見通しのみに依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。

また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。

1 - 1) 連結業績概要 前年同期比

GLORY

1. 連結業績の概要

売上高 金融機関・海外・自販機市場が順調に推移。

利益 製品のプロダクトミックスの変化やコストダウン活動、量産効果などから順調に推移。

(百万円)	平成19年3月期 中間期	平成20年3月期 中間期	前年同期比
売上高	77,327	100,351	+29.8%
営業利益	5,317	14,853	+179.3%
経常利益	5,828	14,745	+153.0%
当期純利益	3,752	8,712	+132.2%

2 - 1) 市場・セグメント別売上高

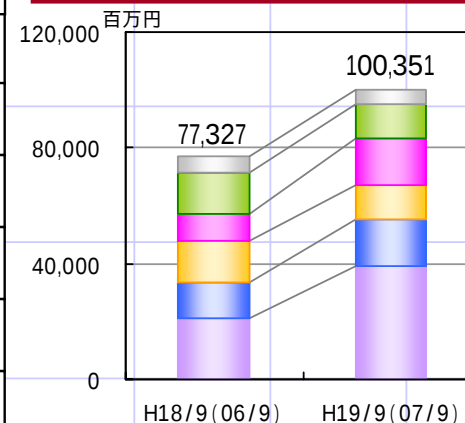
GLORY

2. 連結業績について

(百万円)

市 場	平成19年3月期 中間期	平成20年3月期 中間期	前年同期比
金融機関	20,953	39,411	+88.1%
海 外	12,888	15,723	+22.0%
流通・交通	14,052	11,928	15.1%
自動販売機	9,263	16,230	+75.2%
遊 技	14,080	12,094	14.1%
一 般	6,091	4,965	18.5%

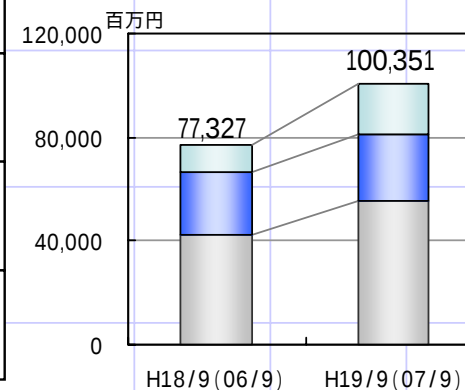
全市場



(百万円)

セグメント	平成19年3月期 中間期	平成20年3月期 中間期	前年同期比
貨幣処理機 及び貨幣端末機	42,375	55,458	+30.9%
自動販売機 及び自動サービス機器	24,171	25,697	+6.3%
その他の商品 及び製品	10,780	19,195	+78.1%

全セグメント

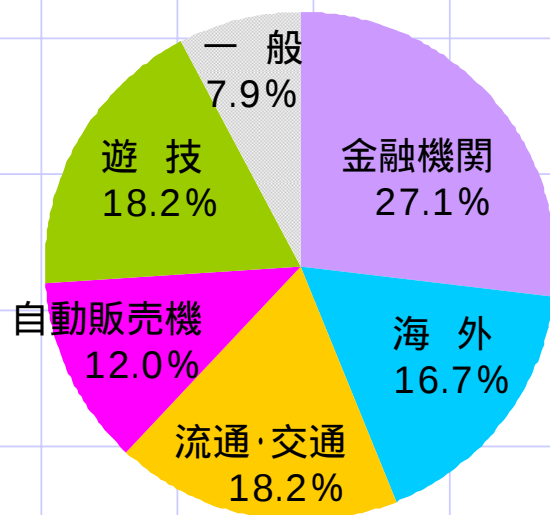


2 - 2) 市場別売上高構成

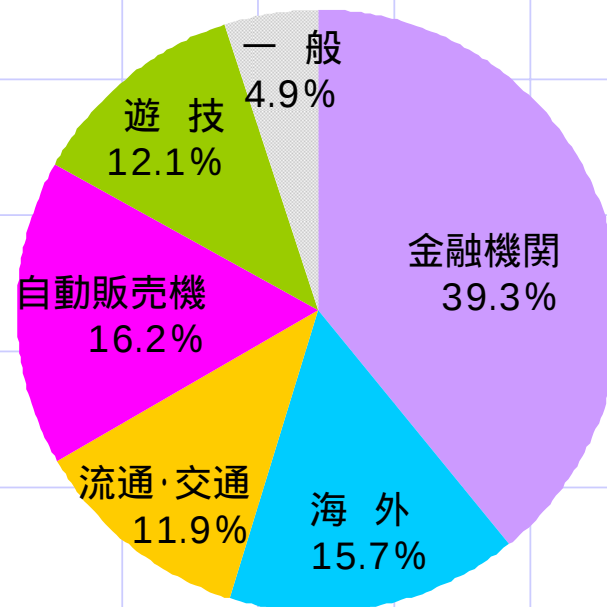
GLORY

2. 連結業績について

平成19年3月期 中間期



平成20年3月期 中間期



【売上高構成比率が増加した市場】

- ・金融機関市場 12.2%増
- ・自動販売機市場 4.2%増

【売上高構成比率が減少した市場】

- ・海外市場 1%減(売上高は22%増)
- ・流通・交通市場 6.3%減
- ・遊技市場 6.1%減
- ・一般市場 3.0%減

2 - 3) 金融機関市場

GLORY

2. 連結業績について

● 基幹商品の需要が拡大

- ・金融機関の業績向上と併せて、現金取扱い業務の人的ミス削減に関する設備投資意欲が向上。
- ・郵政民営化に伴い合理化、効率化を狙った機械化促進により需要が拡大。

【前年同期比】88.1%増

業績に貢献した主な製品

↑ オープン出納システム「WAVEシリーズ」

↑ 窓口用現金入出金機「RBシリーズ」

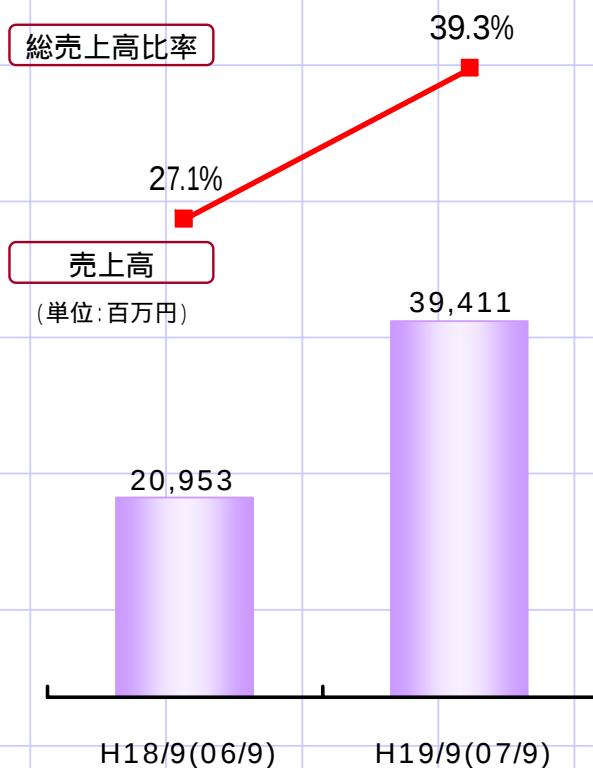


オープン出納システム
WAVEシリーズ



窓口用現金入出金機
RBシリーズ

市場	平成19年3月期 中間期	平成20年3月期 中間期	前年同期比
金融機関	20,953	39,411	+88.1%



2 - 4) 海外市場

GLORY

2. 連結業績について

● 欧州でシステム製品の需要が拡大

欧州でのユーロ紙幣に関する正損分離の義務化や偽札対応、省力化ニーズの高まりから、システム商品の需要が拡大。

【前年同期比】22.0%増

業績に貢献した主な製品

↑ 窓口用紙幣入出金機「RBUシリーズ / RZシリーズ」

↑ ATM用紙幣入金ユニット「UDシリーズ」



紙幣入出金機
RBUシリーズ



紙幣入出金機
RZシリーズ



ATM用紙幣入金ユニット
UDシリーズ

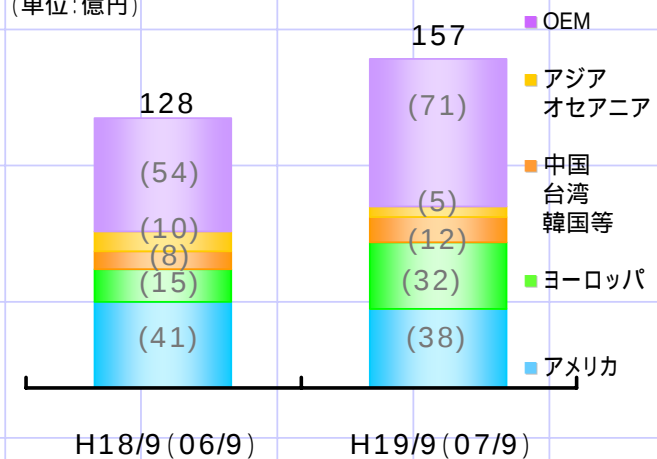
市 場	平成19年3月期 中間期	平成20年3月期 中間期	前年同期比
海 外	12,888	15,723	+22.0%

総売上高比率

16.7% → 15.7%

売上高

(単位: 億円)



2 - 5) 流通・交通市場

GLORY

2. 連結業績について

● レジつり銭機が低調

レジ周辺機器は今期は大口需要がなかったものの
例年通りの水準を維持。
両替機、入金機等は堅調に推移。

【前年同期比】15.1%減

業績に貢献した主な製品

↑ 流通業界向け多能式紙幣両替機「ENシリーズ」

↑ 量販店向け小型入金機「DSシリーズ」



多能式紙幣両替機
ENシリーズ



量販店向け小型入金機
DSシリーズ

市 場	平成19年3月期 中間期	平成20年3月期 中間期	前年同期比
流通・交通	14,052	11,928	15.1%

総売上高比率

18.2%

11.9%

売上高

(単位: 百万円)

14,052

11,928

H18/9(06/9)

H19/9(07/9)

2 - 6) 自動販売機市場

GLORY

2. 連結業績について

● たばこ販売機の販売が微増

平成20年7月より本格スタートする成人識別機能付きたばこ販売機の販売が堅調に推移。
平成18年10月よりスタートした改造作業も売上に貢献。

【前年同期比】75.2%増

業績に貢献した主な製品

↑ たばこ自動販売機



たばこ販売機
TNRシリーズ

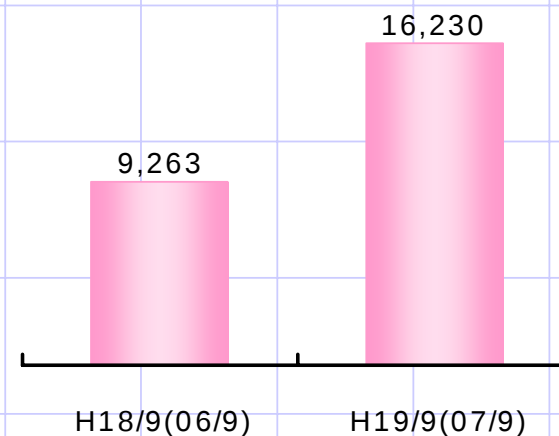
市 場	平成19年3月期 中間期	平成20年3月期 中間期	前年同期比
自動販売機	9,263	16,230	+75.2%

総売上高比率



売上高

(単位: 百万円)



2 - 7) 遊技市場

GLORY

2. 連結業績について

● 業界全体の低迷により投資が冷え込む

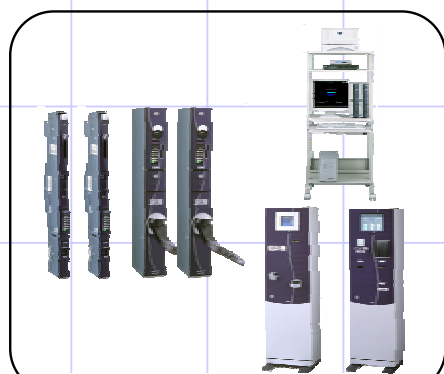
パチスロ規制の改正に伴い周辺機器の需要が低調。
ナスカカード関連機器は堅調に推移。
パチンコ人口の減少など、市場の縮小傾向は進行中。

【前年同期比】14.1%減

業績に貢献した主な製品

↑ ホール向けカードシステム「ナスカG8」

↑ 紙幣搬送システム



ホール向けカードシステム
ナスカG8



紙幣搬送システム

市 場	平成19年3月期 中間期	平成20年3月期 中間期	前年同期比
遊 技	14,080	12,094	14.1%

総売上高比率

18.2%

12.1%

売上高

(単位: 百万円)

14,080

12,094

H18/9(06/9)

H19/9(07/9)

2 - 8) 一般市場

GLORY

2. 連結業績について

● 選挙関連市場が順調に推移

自動契約機やカード関連機器等が低調に推移。
官公庁市場は投票用紙分類機の新製品の発売により、参議院選挙に関する需要を確実に取り込み、順調に推移。

【前年同期比】18.5%減

主な市場の業績

- ・自動契約機市場【前年同期比】44.8%減
- ・カード市場【前年同期比】8.5%増
- ・病院市場【前年同期比】42.8%減
- ・官公庁市場【前年同期比】149.8%増



自書式投票用紙分類機
GTS-500

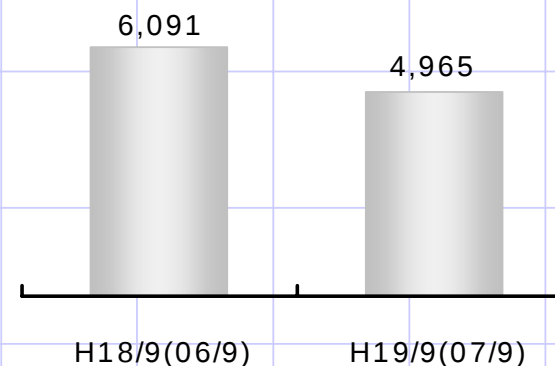
市場	平成19年3月期 中間期	平成20年3月期 中間期	前年同期比
一般	6,091	4,965	18.5%

総売上高比率



売上高

(単位: 百万円)



2 - 9) 保守売上高

GLORY

2. 連結業績について

● 成人識別関連の改造作業が堅調

成人識別機能付きたばこ販売機の改造作業や金融機関向けシステム商品の売上増により堅調に推移。

【前年同期比】34.0%増

業績に貢献した主な製品

↑ たばこ自動販売機の成人識別改造



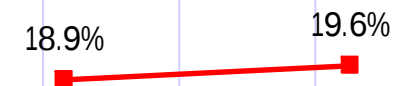
たばこ販売機の改造風景

【たばこ販売機の改造状況】

・改造実績	約88,000件
・改造完遂目標	平成20年3月末

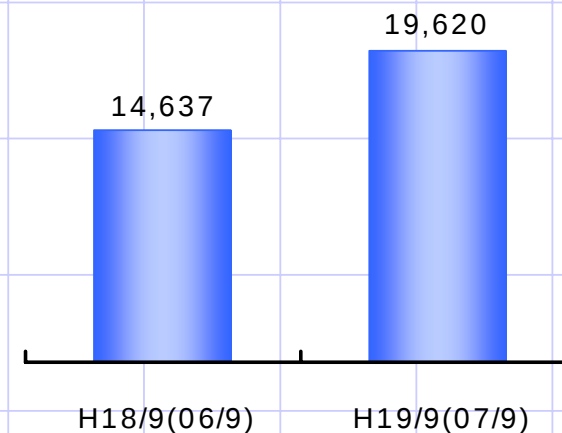
市場	平成19年3月期中間期	平成20年3月期中間期	前年同期比
保守売上高	14,637	19,620	+34.0%

総売上高比率



売上高

(単位: 百万円)



2 - 10) 損益計算書

GLORY

2. 連結業績について

(単位:百万円)

(百万円)	平成19年3月期 中間期 (2006年3月期 中間期)	平成20年3月期 中間期 (2007年3月期 中間期)	増 減
売上高	77,327	100,351	23,023
売上原価	51,485	63,335	11,849
販売費及び一般管理費	20,524	22,162	1,638
営業利益	5,317	14,853	9,535
営業外収益	986	881	104
営業外費用	475	989	514
経常利益	5,828	14,745	8,916
特別利益	134	35	99
特別損失	378	442	63
税引等調整前中間 (当期)純利益	5,583	14,337	8,753
法人税等調整額	1,844	5,491	3,646
中間(当期)純利益	3,752	8,712	4,960

原価率：商品構成の変化や生産・開発段階のコストダウン活動の成果により低下

販管費率：経費削減などの成果から改善

営業外費用：不要部品の廃却損などが発生

特別損失：投資有価証券の評価損や設備機器などの固定資産除却損などが発生

3 - 1) 平成20年3月期 業績予想

GLORY

3 . 平成20年3月期 業績予想

売上高 金融機関・海外・自動販売機市場の需要拡大により前年同期から増加。

利 益 製品のプロダクトミックスの変化やコストダウン活動、量産効果などから増加。

(百万円)	平成19年3月期 (2007年3月期)	平成20年3月期予想 (2008年3月期)		前年同期比
売上高	164,539	185,000		+ 12.4%
営業利益	12,960	18,000	21,000	+ 62.0%
経常利益	13,406	18,000	21,000	+56.6%
当期純利益	6,461	12,000	13,000	+101.2%

3 - 2) 平成20年3月期 業績予想 (市場別売上高)

GLORY

3 . 平成20年3月期 業績予想

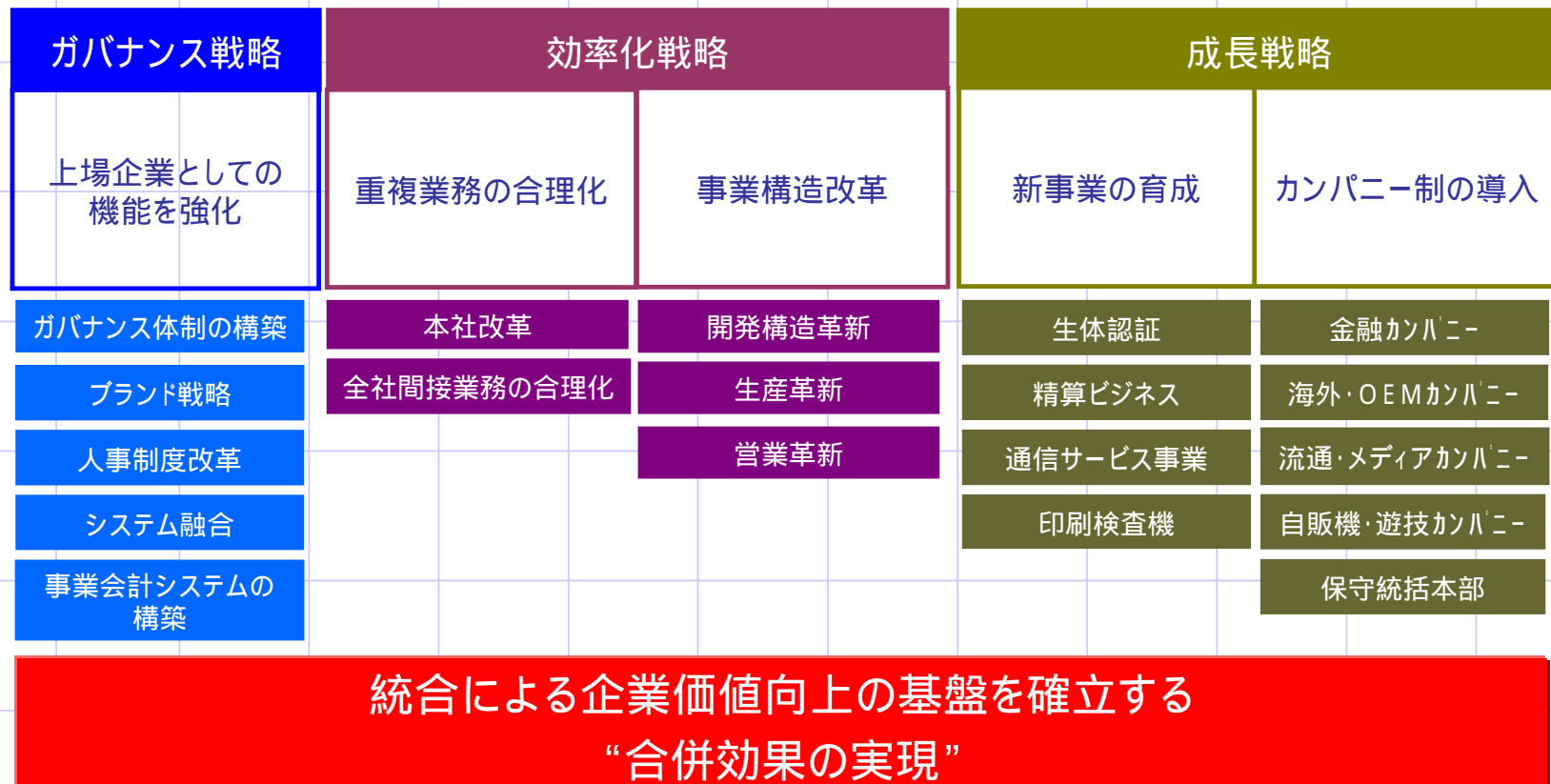
(百万円)	平成19年3月期 (2007年3月期)		平成20年3月期 (2008年3月期)		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前年同期比
金融機関	51,826	31.5%	60,500	32.7%	+16.7%
海 外	28,476	17.3%	35,500	19.2%	+24.7%
流通交通	26,577	16.1%	26,800	14.5%	0%
自動販売機	19,388	11.8%	27,600	14.9%	+42.4%
遊 技	26,202	15.9%	24,600	13.3%	6.1%
一 般	12,090	7.3%	10,000	5.4%	17.3%
合 計	164,539	100.0%	185,000	100.0%	+12.4%

4 - 1) 主な活動内容

GLORY

4 . 中期経営計画への取り組み

● 3つの戦略



4 - 2) 進捗状況

GLORY

4. 中期経営計画への取り組み

● 戦略別 進捗状況と実績

ガバナンス戦略

- ガバナンス体制の構築
- 合併2社のシステム統合
- その他

経営チェック・
監督機能

戦略策定・
意思決定機能

業務執行機能

ガバナンス
機能の分担



ブランド戦略
(コーポレートロゴの浸透)

効率化戦略

- 事業構造改革(開発構造・生産・営業革新)
- 重複業務の合理化
- その他



成長戦略

- カンパニー制導入による市場対応力の強化
- 新事業、新商品の創造(非現金分野で展開)



生体認証



通信サービス



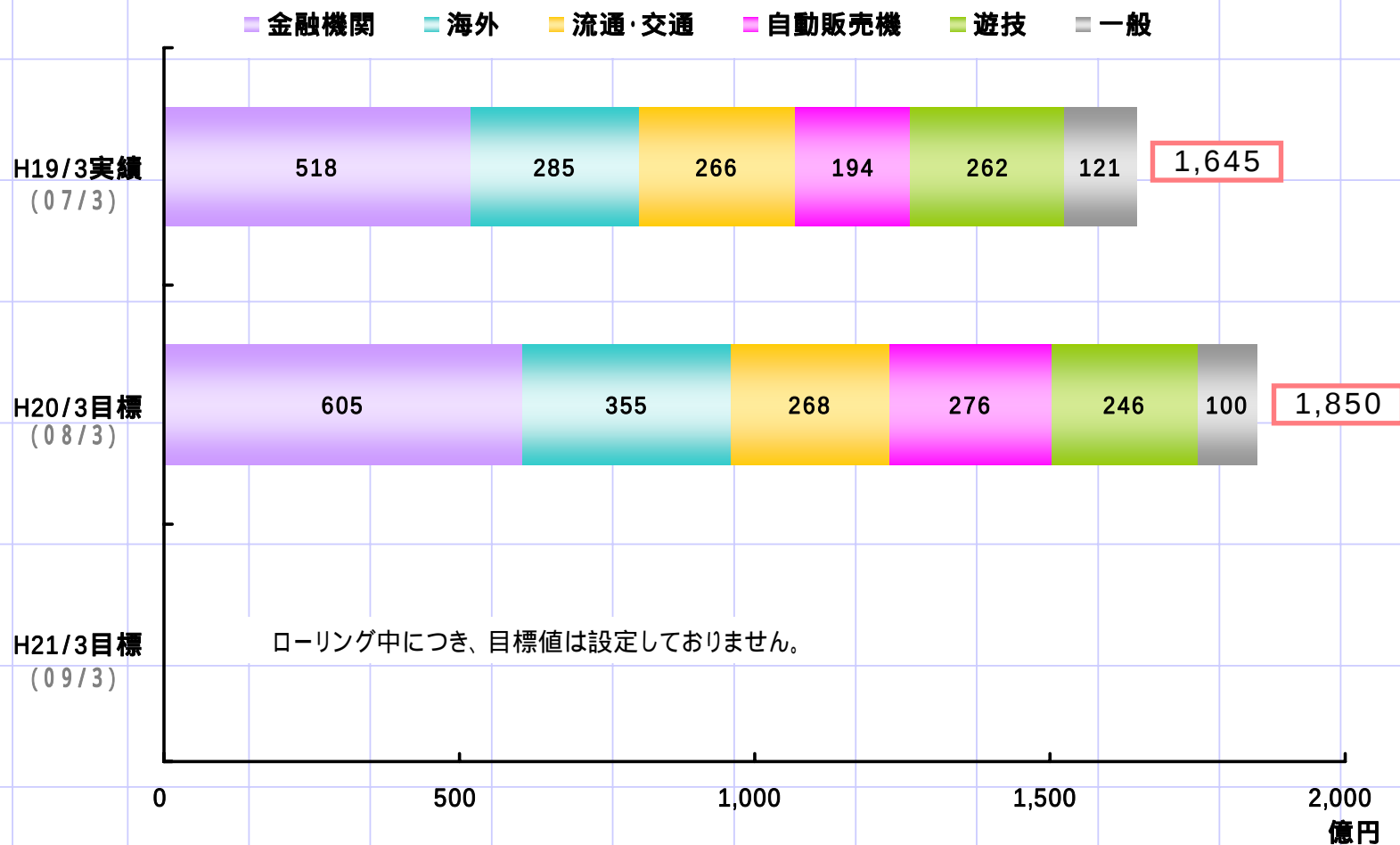
印刷検査機

4 - 3) 中期業績目標

GLORY

4 . 中期経営計画への取り組み

市場別売上高

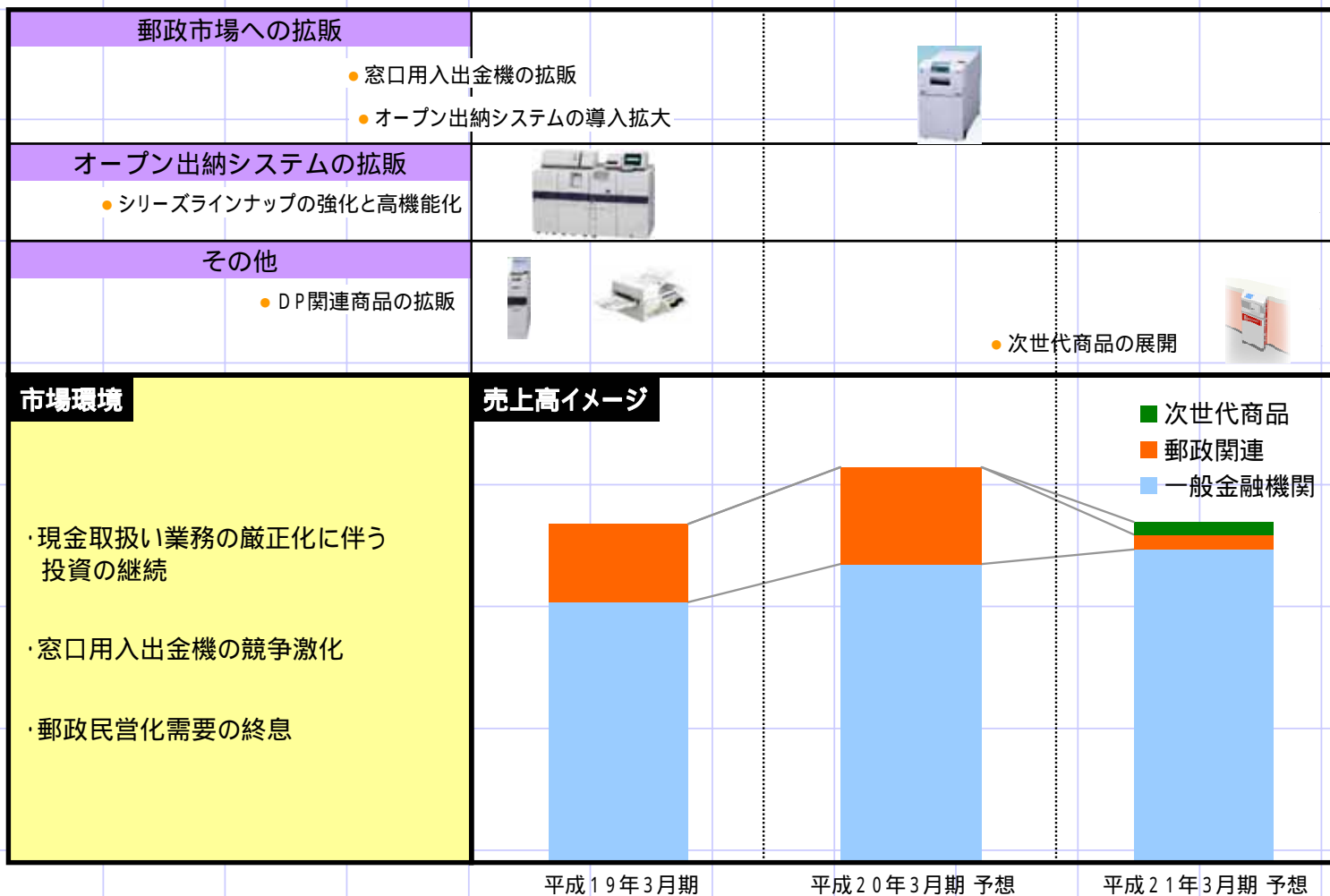


4 - 4) 金融機関市場

GLORY

4 . 中期経営計画への取り組み

● ビジネスチャンスの拡大に伴うシェアアップ



4 - 5) 海外市場

GLORY

4 . 中期経営計画への取り組み

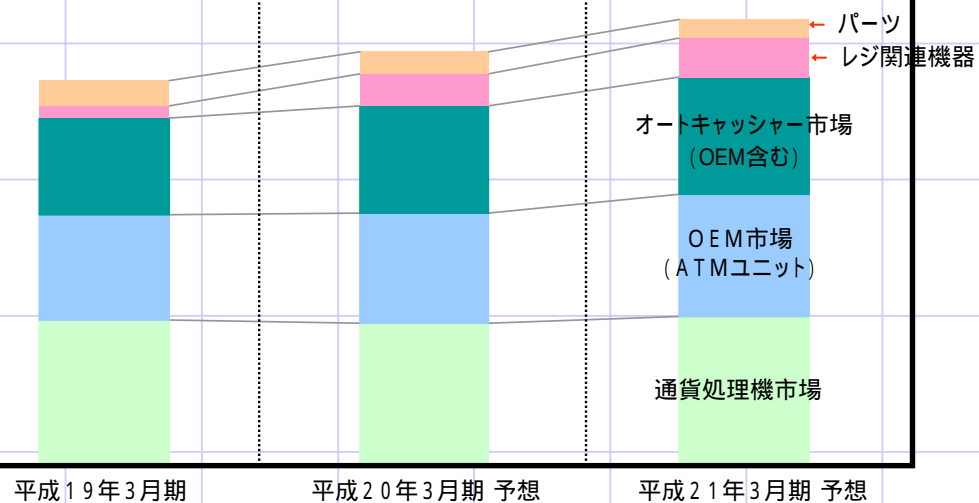
● 市場開拓と販売促進

欧州販売体制の強化 ● 欧州直販網の整備	・UKに出店	 RBUシリーズ
ATMユニットの拡販 ● 価格対応力の強化	 UDシリーズ	
B R I C s 市場への拡販 ● 商品ラインナップの強化	 GFRシリーズ	
その他	● リテール関連商品の拡販	 新製品

市場環境

- ・新BIS規制による現金管理の厳正化・効率化要求
- ・中央銀行から市中銀行への紙幣正損券分離指示
- ・偽券の増加及び各国での改刷の増加
- ・リテール市場での合理化機器導入機運の高まり

売上高イメージ

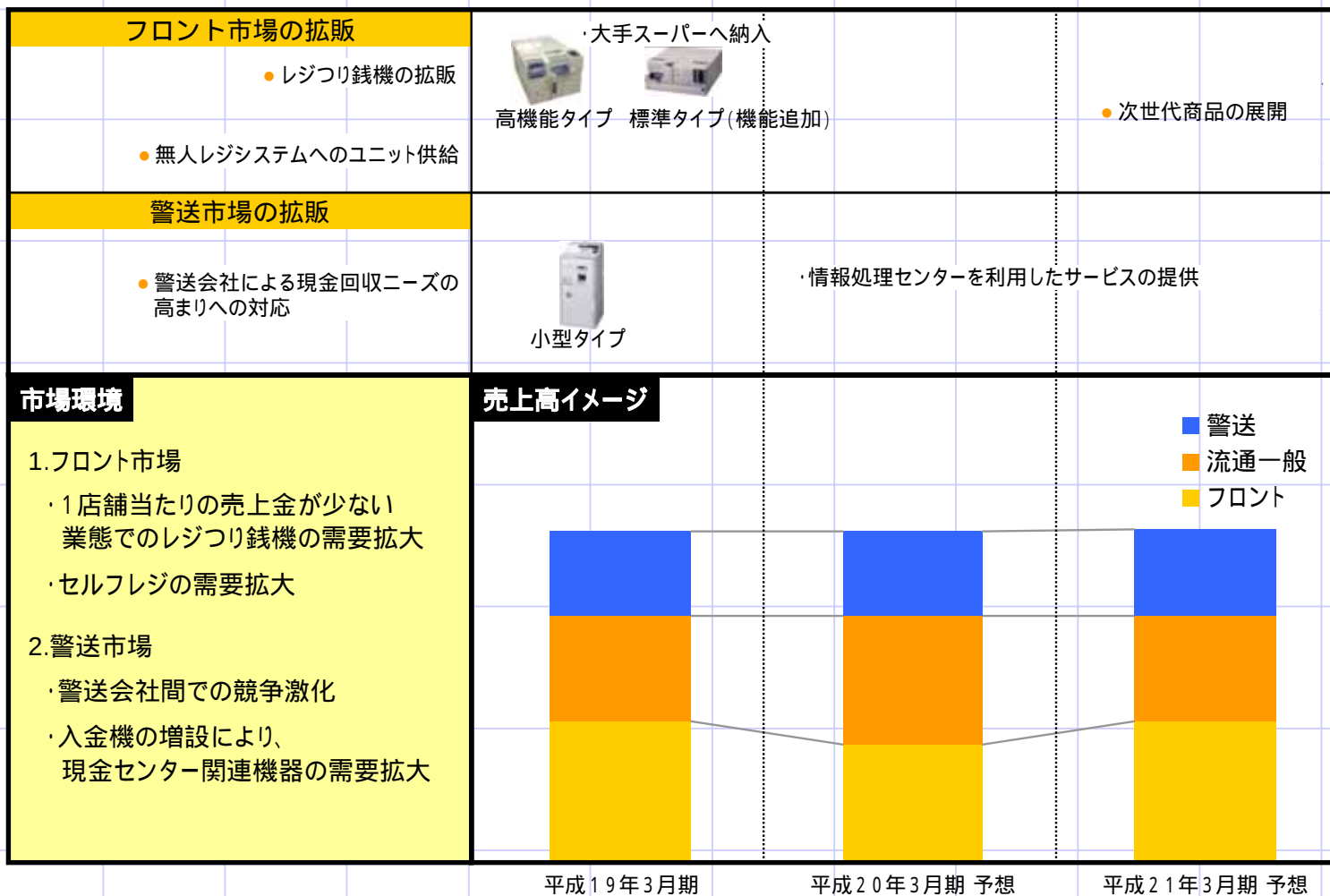


4 - 6) 流通・交通市場

GLORY

4. 中期経営計画への取り組み

● レジつり銭機市場・警送市場の拡販

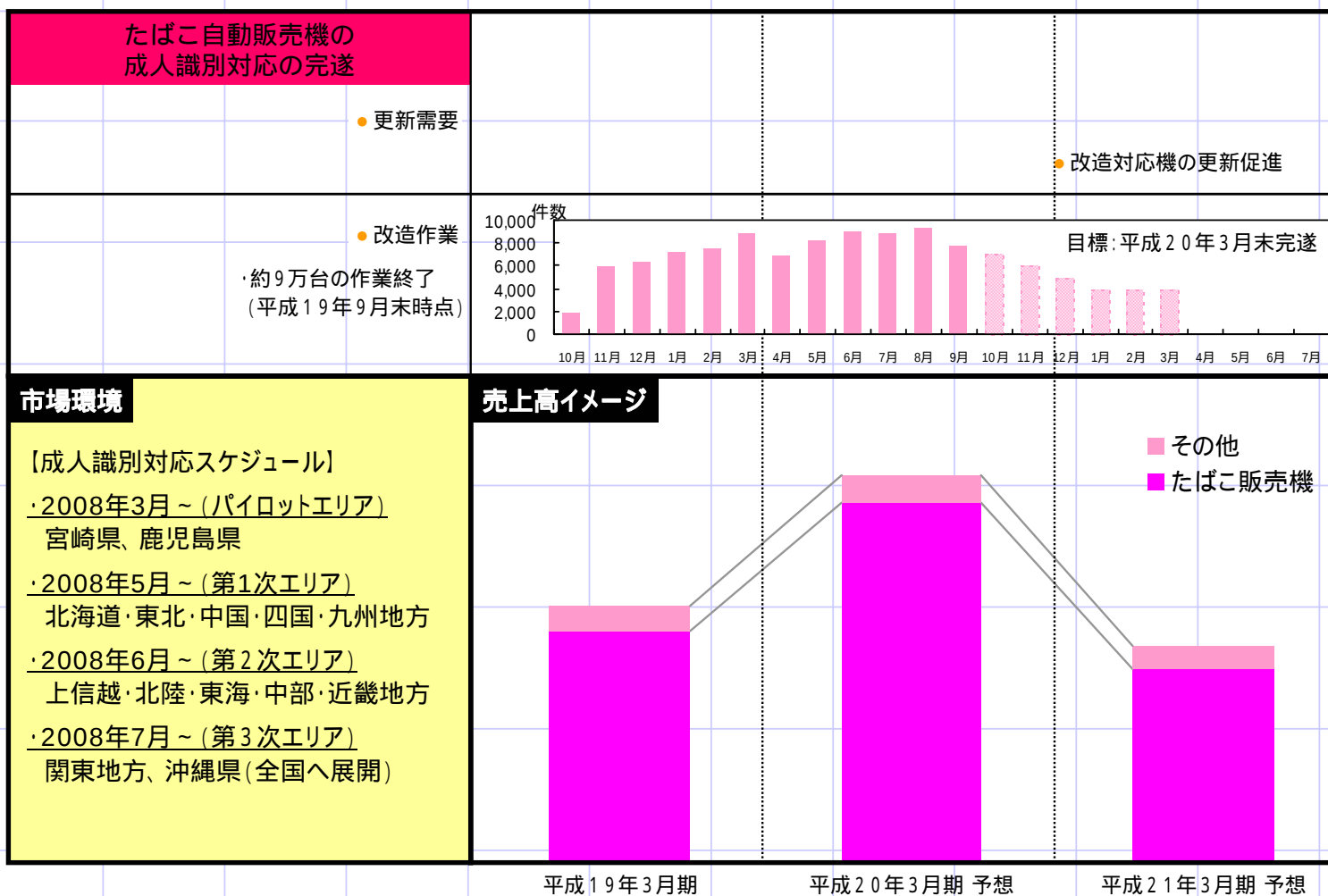


4 - 7) 自動販売機市場

GLORY

4 . 中期経営計画への取り組み

● 成人識別機能搭載たばこ自動販売機の状況

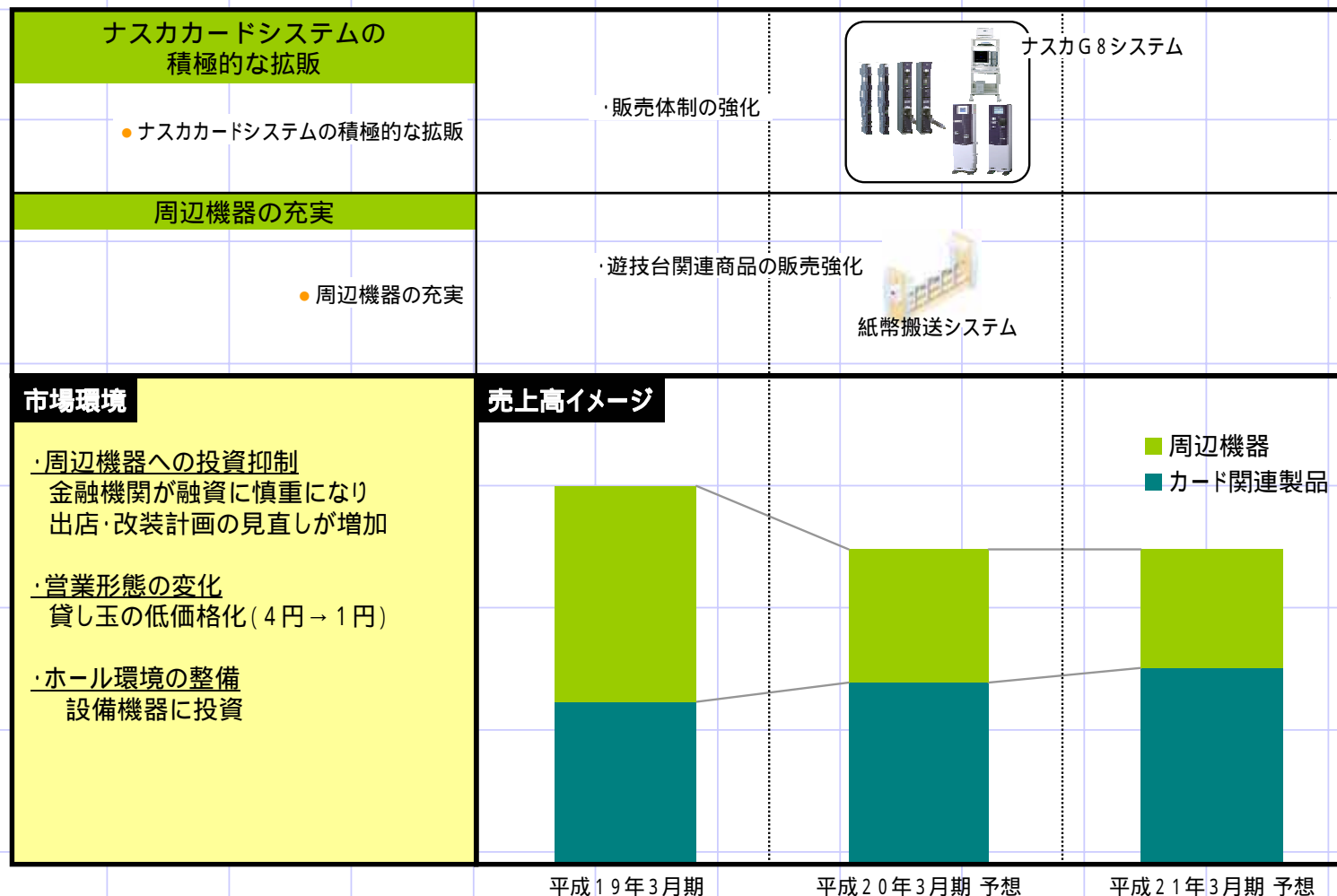


4 - 8) 遊技市場

GLORY

4 . 中期経営計画への取り組み

● カードシステム製品の拡販



平成19年3月期

平成20年3月期 予想

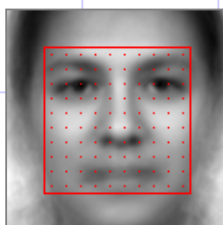
平成21年3月期 予想

4 - 9) 新事業

GLORY

4 . 中期経営計画への取り組み

● 新事業の創造



生体認証

製品化の段階まで進展



セキュリティ関連分野で
パートナー企業と事業展開予定



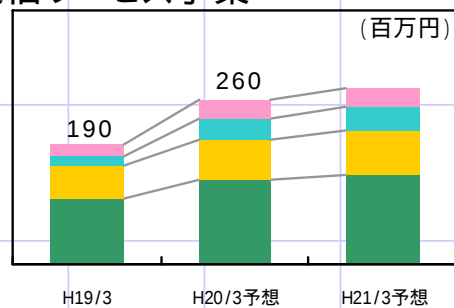
ショッピングセンター
5店舗で事業を展開中



精算ビジネス



通信サービス事業



■ 業務支援サービス
■ ハウジング
■ 電子決済
■ 証券業務支援



印刷検査機

・市場を開拓中
・平成19年5月 ファーストユーザーに納入

5 - 1) 株主還元について

GLORY

5. その他の情報について

- 平成20年3月期の配当予想について

配当方針

自己資本をベースとした安定配当に加え、
連結業績等の動向も勘案した利益還元

平成20年3月期の連結業績を勘案し、株主の皆様の日頃のご理解とご支援にお応えする

1株当たりの配当金

	中間期末	期 末	年 間
平成19年3月期	11円00銭	19円00銭 普通配当 17円00銭 特別配当 2円00銭	30円00銭 普通配当 28円00銭 特別配当 2円00銭
平成20年3月期	14円00銭	14円00銭	28円00銭

5 - 2) 資本政策について

GLORY

5. その他の情報について

● 自己株式消却について

・自己株式取得の理由	機動的な資本政策の遂行および株主還元策の一環として、消却を前提とした自己株式の取得を行いました。
・取得した期間	平成19年5月18日～8月16日(42日間)
・取得した株式の種類	当社普通株式
・取得した株式の総数	約139万8,000株(発行済株式総数の1.88%)
・消却した株式の種類	当社普通株式
・消却した株式の数	約139万8,000株(発行済株式総数の1.88%)
・消却した株式数	平成19年11月9日
・消却後の発行済株式総数	72,838,210株